

Short report [001]

緊急シンポジウム 日本人とコツメカワウソのつきあい方を考える ～課せられる規制制度とその対応～

概要

日付：2019年11月3日

時間：13:00-15:30

場所：東京大学、東京

内容：

Part 1. AOCSJ 代表挨拶

協会発足とシンポジウム開催の趣旨
について

Part 2. 報告

1. カワウソにかかる新たな種の保存
法の規制内容について

佐藤大樹氏（環境省野生生物課）

2. 日本におけるカワウソ取引の現状
と管理体制

北出智美氏（TRAFFIC JAPAN）

3. 改正動物愛護法施行へ向けた動き
と展示動物

東さちこ氏（PEACE）

4. 日動水におけるコツメカワウソの
管理手法とその現状

伊藤咲良氏（よこはま動物園ズー
ラシア）

Part 3. 報告者全員によるパネルディ
スカッション

岡元友実子，事務局長/AOCSJ

2019年10月1日、日本における
カワウソ保全活動をより推進するた
め、日本の研究者たちにより日本ア
ジアカワウソ保全協会（Asian Otter
Conservation Society of Japan,
AOCSJ）が設立されました。

我々が取り組む課題の中で、ペット
として飼育されるコツメカワウソに
関わる問題は最も深刻なものの一つ
であり、8月のCITES（ワシントン
条約）付属書ランクの変更により、
種の保存法に基づき11月26日より
飼育個体に対する規制制度が開始し
ます。

そのため、本協会はこの新たな規制
制度について多方面から議論を行
い、そして一般にも広くこの現状に
ついて啓蒙を行うため11月3日に緊
急のシンポジウムを開催いたしました。
当日は複数メディア記者の方々
を含む55名の方々に参加いただきま
した。今回のシンポジウムがコツメ
カワウソ問題改善に向け影響を与え
ることを望むと共にこれからも保全
活動に邁進して参ります。